



松山 篤夫 議員

森林セラピーで心身の健康や地域振興を！

グリーンツーリズム

【問】観光のあり方が多様化し、豊かな自然をいかしたグリーンツーリズムが、今注目されている。具体的なプログラム・PRなどどうなっているのか。

【答】地域との交流も兼ね備えた様々な体験メニューを紹介し、付加価値の高い旅行商品としてPRしたい。学校や教育事業者も訪問し、DVD等も活用しながら積極的な誘致活動も行っている。

【問】森林セラピーロードをつくり、認定を受けることへの市の見解は。

【答】認定を受けるための条件など研究する。

再生可能エネルギー

【問】持続可能な低炭素社会の実現や、エネ

ルギー自給率の向上がこれまで以上に求められる社会情勢の中で、自然エネルギーの活用などのエネルギーシフトへの要求が高まっている。小水力発電と温泉発電に対する市の見解は。

【答】小水力発電は、豊富な水資源や落差のある地形などからも導入の検討には適した環境にあると考えている。温泉を活用した温度差発電の導入については、地域の自然エネルギーを活用した有効な取り組みであり、導入についての地域の考えも聞きながら、検討していきたいと考えている。

【問】市民が小水力発電を行う際に、相談ができるセンターを設置できないか。

【答】市民が小水力発電を行う際に、相談ができるセンターを設置できないか。

【答】地域政策課で対応する。そのための相談センターの設置は、現在考えていない。

【問】手続きへの簡略化を考え、「地域活性化総合特区」に申請することへの市の見解は。

【答】現在、県が総合特別区域法に基づいた「次世代エネルギー振興特区（仮称）」の申請を全県を対象に検討しており、その動向を注視していく。

飛騨牛の消費拡大

【問】飛騨牛の消費拡大への取り組みは。

【答】様々なPRイベント等を積極的に実行し、安心・安全をアピールする。



五色ヶ原(グリーンツーリズム)



松葉 晴彦 議員

鳥獣害対策、新射撃場早期実現を！

鳥獣害対策と猟友会及び射撃場

【問】昨年度の捕獲・狩猟の頭羽数は。

【答】イノシシ1179頭、ニホンジカ130頭、サル137頭、カラス132羽など合計1826頭である。

【問】猟友会の現状は。

【答】市内の猟友会は飛騨猟友会と高山猟友会、合わせて155名で、うち銃器免許所持者が131名、わな猟のみの免許所持者が24名である。

【問】狩猟免許の取得助成や猟期中の奨励金制度を考えられたい。

【答】有害鳥獣の個体数を減らすためにも検討する。

【問】現在の片野教習射撃場の問題点は。

【答】銃刀法改正により、銃刀所持許可更新時に

指定射撃場での技能講習が義務づけられ、現在の施設では老朽化や周辺の住宅地などで存続が困難となった。

【問】新しい射撃場計画は。

【答】猟友会と関係市村及び県と連携を図り、新射撃場については場所等含めて整備を具体的に検討している。

小水力(ミニ水力)発電

【問】小水力発電についての課題は。

【答】水利権をはじめ法的問題、洪水対策、消排雪の際の問題、ゴミ・落ち葉・流木などの浮揚物対策などが考えられる。

【問】各地域で実証するための予算化を検討されたい。

【答】来年度予算で対応

を検討する。

用水取入口の土砂・岩石流入対策

【問】河川から導水している農業水路の数は。

【答】農業用水頭首工は527箇所である。

【問】土砂などの流入現状を把握しているか。

【答】近年のゲリラ的豪雨により、用水路に土砂岩石が流入する頻度が増えており、地域の負担が大きくなっている。

【問】抜本的対策は。

【答】現段階で抜本的方策はない。地域力の共同活動で、緊急かつ計画的な対応をお願いしたい。



地域における牧柵対策